

まちの話題

九州大会優勝



▲写真左から組坂颯くん、井手夏希さん、篠原七海さん

12月13日、長崎県島原市で開催された第3回KTN杯争奪九州少年少女選抜レスリング選手権大会で、三井ラビットレスリングクラブ(平田傑監督)に所属する井手夏希さん(4歳)が幼年年少18kg級で、組坂颯くん(6歳)が幼年年長28kg級で、篠原七海さん(4年)が小学生女子4年31kg級で優勝を飾りました。

平田監督らは「3人とも自分から攻めて点数を取りにいく積極的な戦い方ができた。」と大会を振り返りました。このクラブは毎週金曜日と第2・4火曜日の午後7時から2時間、三井高校のレスリング道場で2歳から中学生までの子どもたち約20人が楽しく練習をしています。「勝負にこだわらず、身体を動かすこと、スポーツを楽しむことを目指して活動しています。興味がある方は三井高校(☎72-2161)の森岡先生までご連絡ください。」とのことでした。

外国人が楽しく交流



▲全員参加のゲーム。最後は、1つの輪になりました

小郡市や近郊で生活している外国人を対象にした交流会が12月12日に生涯学習センターで行われました。

この交流会は、外国人に日本や小郡での生活の情報交換や出身国の話などで楽しく交流してもらおうと、小郡ロータリークラブ、国際ソロプチミスト小郡、おごおり国際交流協会、小郡市が共同で開催しており、今年で12回目を迎えました。

外国人によるスピーチで始まり、詩吟や和太鼓などの日本の文化に触れた後、参加者による歌や踊りなどで盛り上がりしました。会場は、「友達ができた。」「とても楽しかった。」と、笑顔でいっぱいでした。

「大原合戦図屏風」贈呈式



▲屏風について語る柳さん(写真右)と平安市長

12月21日、埋蔵文化財調査センターで柳敏子さんより「大原合戦図屏風」が市へ寄贈されました。寄贈された柳敏子さんは「屏風を押し入れの片隅で眠らせるよりも、小郡の文化の発展に役立てたい」と思い、寄贈させていただきました。今後の様々な催しもの時などに末永く愛用していただければ、亡き父も喜ぶのではないかと話されました。

平安正知市長は、「大原合戦図屏風は、大原合戦を語るのに欠かせないもので、市勢要覧や広報など市の広報物で取り上げてきた経緯があり、愛着のある絵です。今後は、小郡市の文化・教育への向上に活用していきたい。柳さんのありがたい気持ちを引き継いでいきたい。」と話しました。

地域みんなで餅つき大会



▲帆足さん(写真左)と米倉さん(写真右)も餅つきに参加

12月19日、立石小学校で餅つき大会が行われました。

今回は今年迎える立石小学校創立100周年のプレイベントも行われ、立石小学校の卒業生の米倉照恭さん(アトランタオリンピック棒高跳び代表)と帆足和幸さん(埼玉西武ライオンズ)も参加しました。

餅つき前には、質問があり、小学校時代の思い出や良いところなどの質問が出されました。

米倉さんへの獲得したメダル数の質問に「メダルは10個くらいもらった」、帆足投手への何メートル遠投ができますかといった質問に「100メートル以上は確実に投げるができます。」と答えると、子どもたちだけでなく保護者達も「すごい。」と驚いていました。

最後に、お二人から「皆さんは地域に方々に見守られて育っています。元気にのびのびと育ててください」と話されました。